

自治区連会報

第58号
編集発行人
下妻市自治区長連合会
広報編集委員会

大規模災害に備えて

皆さんは自主防災組織をご存知でしょうか。これは、自然災害が起きたときに自分たちの家族や地域を自分たちで守るため、地域住民が協力して自発的に結成されるみんなで助け合う組織で、大きな災害が発生した場合、市、消防署、自衛隊などの到着を待つ間、救助、避難支援、初期消火などを地域住民が行うことにより、地域の被害を最小限におさえるものです。普段の活動は、地域の

危険箇所の調査や防災資機材の点検、地域で防災訓練を行うなど、それぞれの組織によって様々です。

十一月に行われた自治区長連合会役員会において、各地区の自主防災組織について話し合い、地域間に温度差があることがわかりました。左記の表は、各地区の組織率をまとめたものです。表からもわかるように、組織としての自主防災組織はないけれども、救護班、誘導班等に分かれ

	自主防災組織数	組織率(推計)	活動内容
下妻	15	56%	(西町地区) 自主防災組織は、救護班、誘導班等にわかれるが、実際の訓練は行っていない。 (大町地区) 組織としての自主防災組織はないが、大町コミュニティセンターの防災組織は消防署に毎年報告、毎年いろいろな形で防災訓練を行っている。
大宝	2	8%	毎年4月区長対象に集まる。コロナのため、現在は活動ができない。
騰波ノ江	11	61%	毎年4月支部総会。出席者は区長のほか民生委員、コロナの状況をみながら、防災研修を検討中。
上妻	7	32%	上妻支部は4月に総会と上妻市民センター運営委員会を開催。民生委員と消防関係、子供会関係の人も来ている。
総上	0	0%	総上は自主防災組織はないが、(災害等の時は)その場にいる人たちが分担してやっている。
豊加美	5	27%	年1回支部総会。コロナのため、現在は活動ができない。
高道祖	8	78%	高道祖の自主防災組織は代表区単位で組織しているのが4地区活動も総会も、別々に行っている。
千代川	32	100%	(大園木地区) 災害時の役割分担が決められており区長が主体となってそれぞれ行動することになっている。(謙庭地区) 毎年10月に自主防災会で防災訓練をしている。謙庭地区の班長の役割分担が決まっている。

て、毎年防災訓練を行っている自治区や、区長、民生委員、消防団、子供会役員等が集まって情報交換の場を設けている自治区もあるようです。

日頃からの地域住民同士の連携は、地域の防災力を高め、いつ起こるかかわからない大きな災害の際には大きな力を発揮し、過去の災害で隣同士が助け合う自主防災組織のおかげで被害が最小限にとどめられたという事例も多く報告されています。

自主防災組織の結成活動に対しては、市役所消防交通課危機管理室で支援を行っているほか、補助金も交付されています。地域防災についてのご相談は消防交通課危機管理室で随時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

消防交通課危機管理室
四三一二二二
(内線：二三三二)

下妻市表彰式において一般功労表彰を受賞

10月19日、下妻市役所において、令和3年度下妻市表彰式が行われ、代表区長や自治区長を通算10年以上務め退任された方が、一般功労表彰を受賞されました。おめでとうございます。

一般功労表彰 (地方自治の進展)

◆代表区長

- 田崎 光男 (田町) 2列目1番右
- 塚越 徳 (半谷) 3列目左から2番目
- 軽部 徳治 (本城町) 3列目一番左
- 矢神孝次郎 (上宿) 3列目左から3番目
- 故 山中 理 (江)

※敬称略()内は、代表区の名称



自治会活動に参加しましょう!

宗任神社大銀杏の枝おろし

— 総上支部 —



松岡の宗任神社には幹回り4.5メートルの大銀杏があり秋ともなると遠方からも黄金色に輝き目立ちます。この敷地には松岡公民館があり、傍には児童遊具などもあります。以前枯れ枝の落下で遊具が壊れた事もあり、もし子ども達が遊んでいたら大惨事になっていた事でしょう。

そこで関係者で樹木管理を検討したところ、枝おろしの剪定をする事となり令和3年4月21日に実施しました。主幹を残して脇枝を適度に切り銀杏本来の偉容を残せたと思います。

防災研修会を開催する！

— 騰波ノ江支部 —



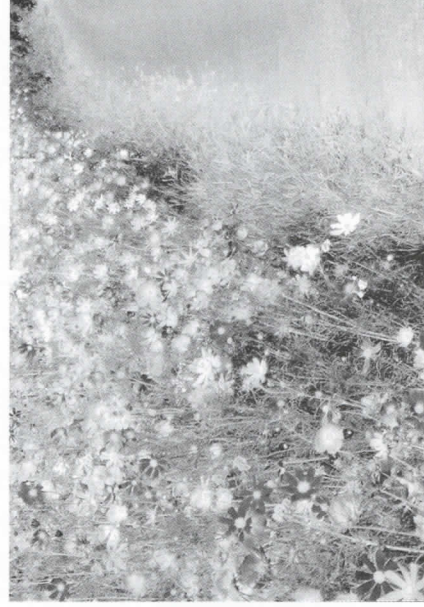
十二月四日に騰波ノ江市民センターにおいて、市の活き活き出前講座を活用した、防災研修会を開催しました。

菊池市長を講師としてお招きし、区長・民生委員二十名が災害時のマイタイムラインと自主防災組織についての研修をしました。

最近、今までに経験したことのない豪雨や暴風雨による大規模災害が毎年各地で発生しています。このような防災研修会が市内各地域で開催されることを願っています。

「花が取り持つ、地域の輪」

— 豊加美支部 —

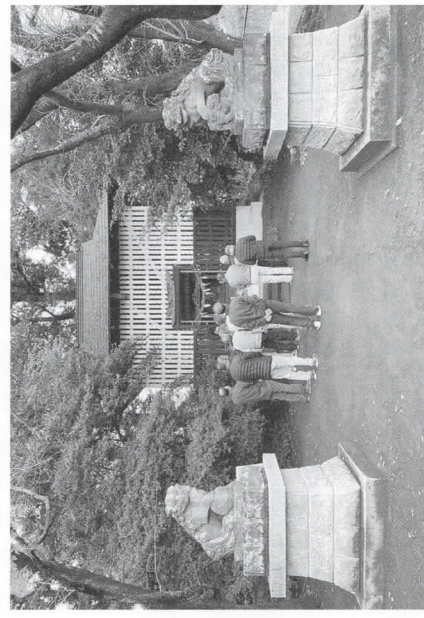


新堀地区には、地域の守り神となる神社の境内地に「紫陽花」、通学路沿線に「秋桜」が咲き誇ります。農村保全体、自治会、子供会などで種まきを行い開花を待ちます。毎年当日日には「花まつり」を開催しバーベキューやビンゴゲーム、こども花火大会、災害時想定「炊き出し」も行いながら情報交換をしています。

しかし昨今は、大切な地元の様子が分かりにくく状況になりつつあり、今後も「花まつり」などを通じて、心を一つにして助け合いながら「安心できる地域の輪」づくりに努めます。

諏訪神社 秋の例祭

— 上妻支部 —



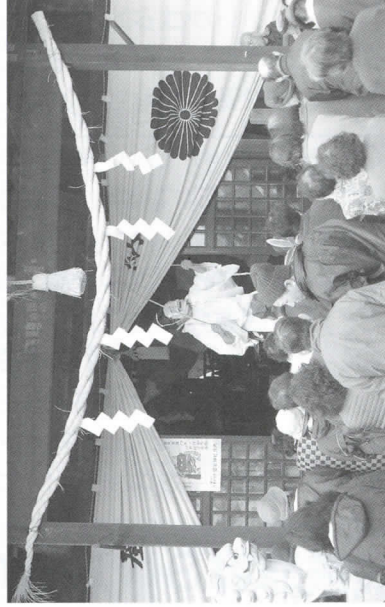
大木地区において、秋の深まった11月、諏訪神社の秋の例祭が行われました。神社は、神様をまつることでご利益があるといわれ、全国に約2500あり長野県の諏訪を総本社とされています。例祭は、氏子の方々を中心として昔から例年行なわれていきます。神社敷地には遊具施設や花壇があり、子供たちが楽しめるようになっています。

昨年来、コロナ感染により地域の自治活動自粛が余儀なくされておりますが、できる中で皆さんとともに前に進んでいきたいと思っています。

自主防災組織を作りましょう！

大町 愛宕神社について

— 下妻支部 —

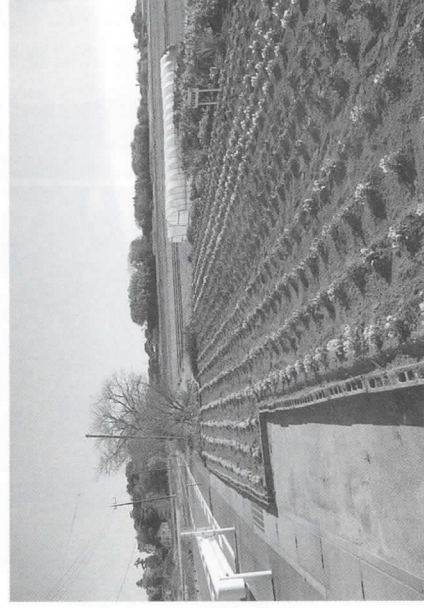


さん歩の駅サン・SUNさぬまから正面に見える「愛宕神社」は室町時代の宝徳元年（1570年）に多賀谷広元により創建されたと言われ、祭神は火産靈命で「火難防除の神社」として信仰されています。1月24日の例大祭には神樂が奉納され、戎様の鯛(餅)釣りでは参詣者が餅と引き換えにお捻りを返します。また、参詣後に境内の熊笹を採って持ち帰り家の入口に差しおくと「火除けのお守り」になるとの言い伝えが信者が沢山お守りします。

現在はコロナ禍で中止していますが例年の節分祭では抽選会や振舞い小学生の豆撒き等地域の繋がりを大切に手作りの追儺行事を行っています。

なご 和みの花壇

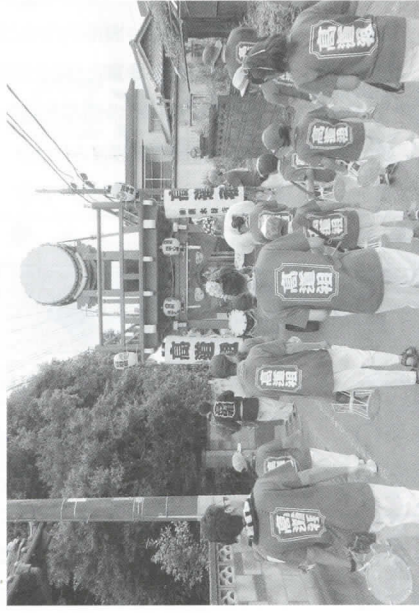
— 大宝支部 —



福田地区では、市道三路線の交差点、五差路の一角の花壇119㎡に、下妻市花のまちづくり推進事業を、平成15年から受託し、花を愛でる五差路会のメンバーが、春にはポーチュカ力の苗を、秋にはピオラの苗を植栽し、和やかに水やりや除草作業など手入れしながら、春の大宝地区から福田地区間の桜堤、夏は美田を吹き渡る緑風、秋は稲穂の黄金波とともに、東西南北から通行する人たちの心を和ませられるよう力を合わせています。

高道祖小供はやし連について

— 高道祖支部 —



高道祖地区子供はやし連では、小学生から中学生を中心に、夏祭りや子ども伝統文化フェスティバルなどの活動を実施しています。また、市内の老人ホームへ慰問したり、地域のイベントへの参加等も行っていました。昨年よりコロナウイルス感染症により活動の自粛が続いていますが、一日も早く活動の再開ができるよう、コロナウイルスが終息するようお願いしています。

どこでも市長室を開催！

— 千代代川支部 —



1月21日、千代代川公民館において宗道地区区長会が主催して「どこでも市長室」を開催しました。各区長や班長計40名が参加し、市長さんの行政報告を受けた後、地域の課題について話し合うことができました。特に17年前に自治区の所管になったまま放置されている土地の活用をどうするか協議し、近く「跡地問題検討委員会」を立ち上げることになりました。これを機に、皆で住み良い宗道地区をつくらんと決意を新たにいたしました。

自治会活動に参加しましょう！

◆ 活動日誌 ◆

◆ 令和3年 ◆

- 10月16日(午前) 市長との対話集会(下妻中学校区)
- 10月16日(午後) 市長との対話集会(東部中学校区)
- 10月23日 市長との対話集会(千代川中学校区)
- 11月10日 正副会長会議・役員会・広報編集委員会
- 12月13日 県自治会連合会第2回理事会
- 12月13・14日 市議会傍聴

◆ 令和4年 ◆

- 1月25日 自治区連会報(第58号)発行
- 2月 県自治会連合会「講演会」(守谷市) ※予定
- 2月 正副会長会議 ※予定
- 3月 役員会・理事会 ※予定

区長と市長との対話集会を実施しました

十月十六日、二十三日の二日間、各中学校区を単位に「区長と市長との対話集会」が実施され、四十六名の代表区長が参加しました。

各会場とも、地域に身近な課題についての要望・提案はもとより、市内全域、市政全般にわたる質問・提案も出されるなど、非常に活発な意見交換の場となりました。

主な質問は次のとおりです。

【下妻中学校区】

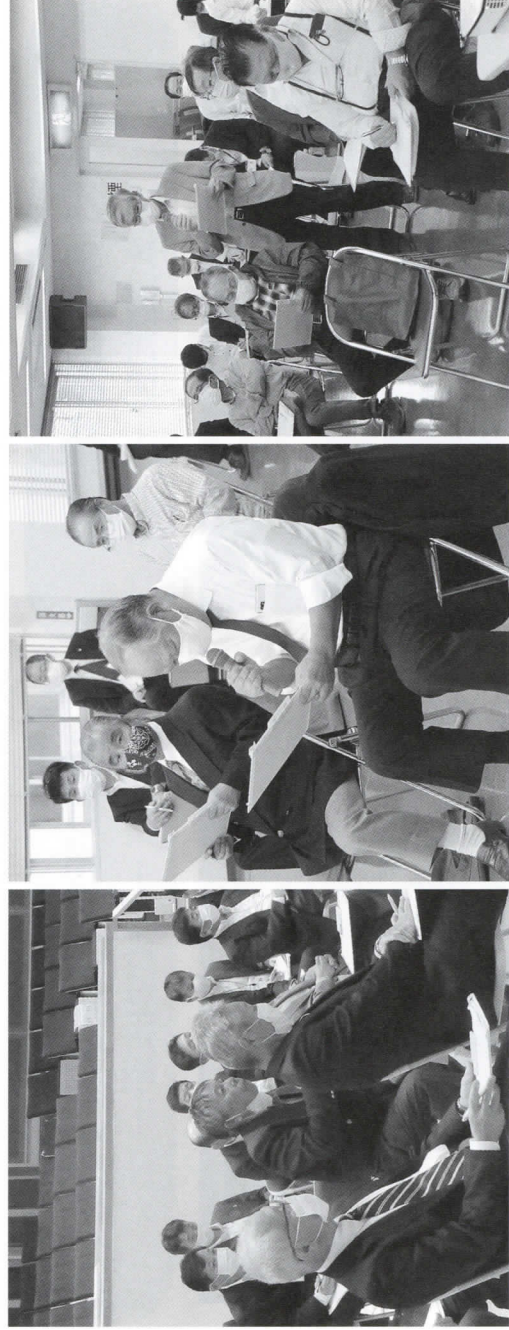
- 防災無線について
- コロナウイルス感染症情報について
- 通学路の道路標識について
- 砂沼の水質について
- プレミアム商品券の効果について
- 移動スーパーについて
- 防犯カメラの設置について
- 交番について

【東部中学校区】

- 高道祖本田の浸水について
- 小貝川の防災減災について
- ヘリコプターについて
- 畑の管理について
- コミュニティバスについて

【千代川中学校区】

- 排水路の整備について
- 空き家と遊休農地について
- 地域の連携について
- 道路の舗装について
- 不法投棄について
- 千代川庁舎について
- 太陽光発電システムの設置について
- 筑波サーキットについて
- 水害時の車の避難場所について
- 消防訓練について
- 高齢者のごみ捨てサポートについて
- ピアスパークについて



編集後記

十一月下旬にコロナ変種株オミクロン株が発生しましたが、第5波のような大きな波とならぬことを願いつつ原稿を書いています。

コロナ渦中の楽しみとして、テレビ鑑賞という人も多いと思いますが、私が好きな番組で芸能人が俳句を詠むコーナーがあります。

「七味爆破 夜鷹蕎麦(よたかそば)へと沈む蓋」

北山 宏光

この句は、若者に人気のアイドルが詠んだ句で、蕎麦を食べようとして七味唐辛子のピンを強く振り過ぎた為、七味がこぼれて、七味の蓋が蕎麦の汁に沈んだ時の心情を詠んだものと作者は説明していました。

それに対する選者の評価は、特待三級の現状維持。「爆破」という表現は大袈裟で、「七味振れば」くらいが適度との講評。

才能のない私に俳句は詠めないが、名人の詠んだ句を読む楽しみは持ち続けたいと思います。(ちなみに私は「振れば」より「爆破」の方が好きだなあ。)

